

【大会会場図】



【大会会場の駐車場】

隣接するキャンセ駐車場が利用できますが有料です。できるだけ公共の交通機関でお越し下さい。キャンセ駐車場を利用される場合、駐車場ビルの4階がイオンの3階とつながっています。イオンの3階エレベーターから直接8階の会場に行けます。

<新型コロナ対策 ～三密を避け万全の体制で臨みましょう～>

- 1) 当日、発熱等の症状がある場合、参加を自粛していただきますようお願いいたします。
- 2) 会場に入る際の検温にご協力下さい。37℃以上の発熱がある場合は参加をお断りすることがあります。あらかじめご了承ください。
- 3) 受付では間隔をとって並び、分散受付(～昼食時間)にご協力ください。
- 4) 入退室時の手指のアルコール消毒、定期的な換気にご協力ください。
- 5) 座席は係の指示に従い、一定の間隔をとって座ってください。
- 6) 会場では講演者も含めて常時マスクを着用してください。
- 7) 間接的な接触を避けるためお茶は準備しません。水分は各自でご準備ください。
- 8) 昼食時はマスクを外さざるを得ません。対面での食事・会話は避けてください。

※上記の方針に従っていただけない方の参加はお断りします。

鹿児島昆虫同好会

2020年大会



「シロウラナミシジミの前蛹と蛹 三密状態でアリと共存!？」

ちなみに写真のアリは、悪名高き放浪種 アシジロヒラフシアリ *Technomyrmex brunneus*
(2020年10月12日 南九州市知覧町別府 水主秀志氏撮影, アリの同定とコメント:山根正気氏)

期日：2020年11月21日(土) 午前10時～午後3時40分

会場：鹿児島市勤労者交流センター（愛称：よかセンター）

鹿児島中央駅前 キャンセビル(イオンが入っているビル)

8F 多目的ホール

2020年 鹿昆大会 プログラム

9:00～ 会場設営（お手伝いいただける方はお願いします）

9:30～10:00 受付 会費納入や記帳をお願いします。※会費納入は昼食時間にもできます。

【午前の部】

10:00～10:05 開会の挨拶 会長：二町一成

10:05～10:25 「奄美大島のフタオチョウ、その後」

二町一成（いちき串木野市）・福田晴夫（鹿児島市）・柗田誠一郎（奄美市）

2017年に奄美大島から記録されたフタオチョウ。その後、同島各地での記録が相次いでおり、演者らは2019年例会にて概要を講演した。今回採集された成虫個体の斑紋傾向や飼育記録など概観する。

10:25～10:45 「出水市における国内移入種リュウキュウアブラゼミの発生消長」

小溝克己・国分高校サイエンス部1年生物班

2018年に出水市でリュウキュウアブラゼミが発見された。昨年の形態解析、DNA解析の結果から得られた出水市産のルーツ等に加えて、今年の現地での羽化パターン等について報告する。

10:45～11:05 「湧水町のアサヒナカワトンボ」

江平憲治（鹿児島市）

アサヒナカワトンボは河川に見られるごく普通種で、一般に春のトンボとして知られている。しかし湧水町では晩秋でも見られたことから、本種の消長を調べてみた。今回はその結果を中心に紹介する。

11:05～11:15 休憩

11:15～11:35 「西之谷ダム 蜻蛉物語（せいらいものがたり）」

芝敏晃（鹿児島市）

2018年から月に3～5回程鹿児島市の新川に整備された西之谷ダム・ビオトープでトンボ調査を続けている。そこで観察したトンボの繁殖行動等を写真や動画で紹介する。

11:35～11:55

「鹿児島県のホタル4種について～鹿昆で分布を調べよう」 中峯敦子（県立博物館）

県内のホタルの分布はどのように推移してきたか、鹿昆で改めて把握してはどうだろう…。本年、アルボ175号で「鹿児島でのホタル分布図作成の提案」を行った。本発表では、文献調査と情報提供をもとに、県内ホタル4種の分布についてまとめる。

11:55～12:20 「ロシア沿海州の昆虫・ムシ屋余話」

山根正気（鹿児島市）

1988年9月に柴谷篤弘先生らとウラジオストクを初めて訪れてから32年。その後2019年まで数度にわたって沿海州を訪れ、色々な昆虫や人との出会いがあった。スライドで沿海州の昆虫学事情を紹介する。

12:20～12:30 記念写真撮影、12:30～14:00 昼食・休憩・頒布会

【午後の部】

14:00～14:10 鹿昆大賞 表彰

14:10～14:20 受賞講演 一般の部

「シロウラナミシジミがやってきた」

水主秀志（鹿児島市）

思いかげず採集できたシロウラナミシジミの発生場所を探して、1ヶ月間可能な限り南薩や大隅へ足を運んだ。採集した7月17日に羽化したとすると、次に見つけた蛹が羽化した8月5日が2回目の羽化なら、飛来した母蝶は3週間前の6月26日頃には飛来してきたのか？

14:20～14:40 「奄美大島でのシロウラナミシジミ分布拡大」

金井賢一（奄美高校）

7月下旬に龍郷町のごく狭い2地点で発見された本種は、8月に発生した個体が広く分布を拡大する現象を見せてくれた。その調査過程を紹介する。

14:40～15:10 「日本列島のアサギマダラは、なぜ季節的長距離移動をしているのか」

福田晴夫（鹿児島市）

1980年に本会のマーケティング会で始まったアサギマダラの移動調査は、日本全国、台湾、中国まで広がって40年が経過し、その移動の全貌がほぼ見えてきた。しかし、なぜこのような行動をとるようになったかという問題は、ごく少数の仮説が出ているだけで、論議は深まっていない。演者は、本種の日本列島への侵入から、移動性の獲得についての新しい仮説を提示したい。

15:10～15:20 鹿昆 10 大ニュース 2020

15:20～15:30 画像レター, 15:30～15:35 事務連絡

15:35～15:40 閉会の挨拶 副会長：熊谷信晴

15:40～ 後片付け, SATSUMA 発送準備, 16:10 戸締り完了

《係分担》

【設営・看板・準備】大坪(修)・熊谷(信)・小溝・小宮・中峯(浩)・中峯(敦)・二町・藤田・松比良

【受付・会費】中峯(浩)・中峯(敦) 【SATSUMA 配布】中峯(敦) 【機材搬入・操作】藤田・小宮

【司会・進行】小溝・松比良 【写真】大坪(修) 【記録・アルボ報告】小宮・松比良

【頒布会】熊谷(信)・若松(昭) 【お菓子】長利・前田 【消毒・検温】長利・前田・二町

《標本展示・頒布会》

今年の成果、貴重なコレクション、「県内の〇〇類」、「日本の〇〇の地域変異」等の標本、ご自慢の写真などを展示できます。マスク越しではありますが、標本箱や写真を囲んで“三密に注意しながら”虫談義に花を咲かせましょう。

昆虫関係の本・雑誌、採集道具、標本作製道具、飼育用の食草など、提供できるものがありましたら当日お持ち寄り下さい。資料や道具の有効なりサイクルと、会員の活動の活性化のために、ぜひご協力をお願いします。

《注意》

1) 昼食は各自ご準備下さい。昼食は会場(多目的ホール)内でとれます。1Fに食料品販売があり、また近隣にも飲食店があります。

2) 展示にご協力いただける方は、9:30～10:00 までにお持ち寄り下さい。

3) パソコン・プロジェクター等を使用される方は、早めに機材係と打ち合わせをして下さい。

※ パソコンは係が準備します。Power Point 2007 です。機種によって誤作動が生じる場合がありますので、受付後すぐにデータを USB か CD で係に渡し、その場で一緒に動作の確認をお願いします。念のため、可能ならばご自分の PC もご準備ください。

4) 発表時間は質疑応答と交代を含む時間です。進行にご協力をお願いします。

5) 資料を配付される方は、10:00～10:25 までに受付に提出してください。間に合わない場合は講演前に適宜配布してください。

6) 当日は、受付にて年会費(3000円)も受け付けます。中峯(浩)まで。